

□演習科目

科目名	専門演習 I	4 単位
担当者	<p><A グループ> 大谷 京子、川島ゆり子、水谷なおみ、山口みほ、中島民恵子（後期） <B グループ> 浅井 友詞、末盛 慶、横山 由香里、李 忻 フィールドワーク担当教員：浅井 友詞、山口 みほ</p>	
開講形態	ハイブリッド形式	
テーマ	保健・医療・福祉専門職に共通する価値、知識、実践および研究上の能力を身につける	
科目のねらい	<p><キーワード> ソーシャルワーク、マネジメント、フィールドワーク、研究計画書の作成、先行研究の収集と整理、研究方法、調査方法、分析方法</p> <p><学習目標・内容の要約> ・自らの問題意識を明確にし、研究に必要な資料を収集して分析できる。 ・研究論文の構成などが理解でき、研究計画書を作成することができる。 ・論文執筆のために必要な研究方法論を理解することができる。 ・フィールド調査のプロセスを理解し、調査結果をもとに、議論を通じて学びを深めることができる。</p> <p>専門演習 I</p> <p>研究の進め方入門 まずは学術研究とはどのようなものかを学んだ上で、先行研究の収集方法と整理の仕方を学ぶ。先行研究を整理していく中、自分の研究目的と照らしてどこまで明らかにされ、どこから先は明らかにされていないかを明確にする。この点を踏まえた上で自身の研究における研究課題（リサーチクエスト）を検討していく。研究課題を確定できたら調査方法や分析方法を検討していく。こうした内容を学びながら各自が研究計画書を作成していき、院生や教員のコメントを参考にしながら自身の研究計画をより具体化させていく。</p> <p>フィールドワーク フィールドワーク（現地調査）では、調査目的を設定したうえで、現地へ赴き、情報収集をしたり、関係者にインタビュー調査を実施し、結果を分析・整理する。 フィールドワークのプロセスは、①文献調査・調査関係者によるオリエンテーション（予備的に調査対象の概要を把握する）、②調査計画書の作成（テーマ・目的・対象者・方法・倫理的配慮などを明記）、③インタビューガイドの作成、④関係書類の作成（調査依頼書・インタビュー同意書・同意撤回書など）、⑤インタビューの実施（多くは半構造化インタビュー）、⑥インタビューの分析と結果の整理、⑦結果を議論と報告 ※⑤のインタビューの実施では、インタビュアー（質問をする人）の発問によって、インタビュイー（質問される人）の豊かな実践知を引き出すように工夫する。質問・発問・話をつなげる方法については、「ケースメソッド基礎」で学ぶ。</p> <p>※早期修了制度を利用する院生はフィールドワークについて原則任意参加とします。</p>	
授業の進め方	別紙参照	
事前学習の内容 学習上の注意	<p>研究の進め方については以下の文献を読み進めておく。 上野千鶴子 2018『情報生産者になる』ちくま新書 明石芳彦 2018『社会科学系論文の書き方』ミネルヴァ書房 フィールドワークについては以下の文献を読み進めておく。 佐藤郁哉 2006『フィールドワーク一書を持って街へ出よう（増訂版）』 村田晶子・箕曲在弘・佐藤慎司 2022『フィールドワークの学び方—国際学生との協働からオンライン調査まで』ナカニシヤ出版 自身の研究計画を発表する場合にはレジюмеを事前に準備し人数分印刷して参加する。 各自が各回の指導内容について振り返りをし、自分の研究に反映させる。</p>	
本科目の 関連科目	ソーシャルワーク論、ケアマネジメント論、スーパービジョン論、多文化共生とディスアビリティ、研究方法概論 I・II、医療・福祉マネジメント、多職種連携概論、人材マネジメント論	
成績評価 方法と基準	演習でのディスカッションへの参加状況（25%）、添削指導の対象となる研究計画書と小論文（25%）、フィールドワークの参加状況（25%）、発表会での口頭発表と質疑での応答状況（25%）を評価し、担当教員で合議の上、総合的に評価する。全体で60%以上を合格とする。	

□演習科目

科目名	専門演習Ⅱ	4単位
担当者	<p>Aグループ担当教員： 大谷京子、川島ゆり子、水谷なおみ、中島民恵子（後期）、山口みほ</p> <p>Bグループ担当教員： 浅井友詞、末盛 慶、横山由香里、李 忻、綿 祐二</p>	
開講形態	対面形式	
テーマ	修士学位請求論文を計画的に執筆する	
科目のねらい	<p><キーワード> 研究計画、研究課題、研究方法、論文の構成、社会福祉実践、多職種連携</p> <p><学習目標・内容の要約> ・社会福祉および医療福祉サービスに関する有意義なテーマを設定・研究し、論文を作成できる。 ・自らの考えを明確かつ論理的に組み立てて他者に説明し、意見交換できる。</p> <p>専門演習Ⅱ 2年生を対象に、演習Ⅰでの演習やフィールドワークなどを通じて養成されたジェネリックな力を踏まえ、修士学位請求論文の提出に向けた研究計画書や論文草稿の添削指導、各種の研究発表会における発表と質疑、運営などを含めた演習形式の授業を行う。</p> <p>超高齢社会に対応する社会福祉・医療・介護分野の実践とマネジメントを対象に、理論的・実証的研究を行う。ソーシャルワークの視点から、ケースワークとコミュニティワークの両面を踏まえた社会福祉実践を研究するとともに、保健医療福祉サービスの政策動向や地域包括ケアシステム、多職種連携に着目する。さらに、医療機関や福祉施設における組織・事業所マネジメント、専門職の育成、認知症ケアや地域マネジメントなど幅広い課題を扱う。演習形式の授業を通じて、研究計画の立案から論文作成・発表までを体系的に指導し、修士論文の完成を目指す。</p>	
授業の進め方	別紙参照	
事前学習の内容 学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・研究計画書等の添削指導等を実施する予定なので、定められた期日までに研究計画書等のレジュメを提出すること。レジュメは人数分を準備する。 ・各回の担当教員の指導内容について振り返りを行い、自分の研究に反映していく工夫に努めること。 ・演習形式で授業を進めるため、与えられた課題についてグループまたは個人で事前に検討すること。 	
本科目の 関連科目	なし	
成績評価 方法と基準	<p>演習でのディスカッションへの参加状況（25%）、添削指導の対象となる研究計画書と小論文（50%）、発表会での口頭発表と質疑での対応状況（25%）を評価し、担当教員で合議の上、総合的に評価する。全体で60%以上を合格とする。</p>	